

令和 7 年 3 月 21 日

各 位

産官学金連携の地域資源活用による地域産業応援について

株式会社東和銀行（頭取 江原 洋 以下、当行）は、産官学金で連携し地域産業の活性化を目的とした地域資源の各種 PR に取り組んでおります。

本取組みの一環として、当行の仲介により、群馬大学食健康科学教育研究センター（センター長 粕谷 健一）と雪国アグリ株式会社（代表取締役 鳥山 晴沖）が共同研究契約を締結し、日本で初めて食品原料として「こんにゃく」から天然由来のマンノースの抽出に成功しました。群馬県発明協会（INPIT 群馬県知財総合支援窓口）の支援により、特許の取得も行い、今後もマンノース抽出技術を活用し商品開発を進め、群馬県の特産品である「こんにゃく」の消費拡大に向け取り組んでまいります。

今般、第一段として、「マンノースこんにゃくゼリー」を商品化し、4 月下旬より県内の大手コンビニエンスストアで販売を開始します。

当行では、群馬県の特産品であるこんにゃくの生産・販売の活性化に更なる消費拡大が必要であると捉え、群馬県などと連携して消費拡大の支援に取り組んでおります。地域資源を活かした新たな挑戦が、群馬県全体の発展に繋がることを期待しており、今後も地域に根ざした金融機関として、地域産業の発展に貢献してまいります。

以上